

平成19年度 登別市の仕事



第43回登別地獄まつり（上段左）・登別海鮮直市（上段右）・第36回登別温泉湯まつり（中段左）・成人祭（中段右）・登別温泉小学校の最後の運動会（下段左）・登別温泉児童室（下段右）

『平成19年度 登別市の仕事』の作成にあたって

市民との協働のまちづくりを目指して制定した最高規範の『登別市まちづくり基本条例』が、施行から2年目を迎えました。昨年10月には、この条例にうたわれた『登別市市民自治推進委員会』が設立され、現在は80の方が参加し、『行政推進』『生活環境』『保健福祉』『産業労働』『都市整備』『文化スポーツ教育』の6つの部会に分かれて活動を行っています。

市民と行政が協働し、個性的で魅力あるまちづくりを進めるためには、その仕組みが必要であることから、この条例を制定し多くの市民の方が参加できる体制を整えました。

この『平成19年度 登別市の仕事』は、市民の皆さんが登別市市民自治推進委員会や市政のあらゆる分野に参画する上で基本となる情報の一つとして、今年度市で取り組む事業のあらましや予算額を『登別市総合計画』の柱立てに沿って紹介するものです。

今年度市がどのような事業に取り組むのか、あるいは市が提供しているサービスにどのくらいのお金がかかっているのかなど、市民の皆さんが市の施策を検討する上で、また、のぼりべつのまちづくりを考えていく上で参考にさせていただければ幸いです。

問い合わせ 登別市情報推進グループ（広報広聴担当）

T E L 0143-85-6586

F A X 0143-85-1108

Eメール pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

目 次

平成19年度予算	1
第1章 やさしさと共生するまち	
第1節 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる	
1 子育ての不安と負担の軽減	5
2 児童虐待の防止	10
第2節 市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる	
1 市民の主体的な健康づくり意識の確立	11
2 保健予防活動の充実	11
3 地域医療の充実	13
第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	
1 地域で支え合う福祉活動の確立	14
2 高齢者福祉の確立	15
3 障がい者福祉の確立	21
4 自立した暮らしへの支援	26
第4節 男女共同参画社会の実現	
1 男女の人権が尊重される社会の実現	27
2 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現	27
第2章 自然とともに暮らすまち	
第1節 環境への負荷の少ないまちをつくる	
1 環境に配慮した暮らしの構築	28
2 循環型社会の構築	28
3 生活排水の適正な処理	30
第2節 自然を生かした潤いのあるまちづくり	
1 人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出	31
第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり	
1 総合防災体制の整備	34
2 消防・救急救助体制の充実	34
3 交通安全の推進	35
4 安全な消費生活の確保	36
5 犯罪のない安全なまちづくり	37
6 心配ごと・困りごとの解消	38
第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	
第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	
1 魅力ある観光地づくり	39

2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成	40
3	活力ある地場企業の育成	41
4	雇用と就業環境づくりの推進	44
第2節	自然を活かした産業の育成	
1	特色ある農業・漁業の推進	44
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち	
第1節	暮らしやすい快適なまちをつくる	
1	計画的な都市空間づくり	48
2	地域景観の形成	48
第2節	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	
1	快適な住環境づくり	48
2	良好な居住空間づくり	49
第3節	道路交通網の整ったまちをつくる	
1	総合的な交通網の整備	50
第5章	豊かな個性と人間性を育むまち	
第1節	生涯にわたって学び続ける社会をつくる	
1	市民の主体的な学習の推進	53
第2節	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む	
1	子どもたちの生きる力を育む	55
2	地域に根ざした魅力ある学校づくり	57
3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり	60
第3節	市民の個性ある文化活動と文化を育む	
1	市民の文化・芸術活動の育成・支援	61
2	文化の保存・継承	61
第4節	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす	
1	生涯にわたるスポーツ活動の推進	63
第6章	担いあうまちづくり	
第1節	協働のまちづくりの推進	
1	協働の仕組みの構築	66
2	まちづくり活動の推進	66
3	協働のまちづくりを支える情報の公開と共有	68
第2節	交流によるまちづくりの推進	
1	国内における交流の場と機会の拡大	70
2	海外との交流の場と機会の拡大	71
3	定住の地を求める人の勧誘と定住支援	72
	問い合わせなどの電話番号	73

平成19年度予算

平成19年度の各会計の予算総額は、407億3千610万円で、昨年度の当初予算額と比較すると0.1%の増加となりました。

一般会計が1.8%の減少、7特別会計の合計が2%の増加、水道事業会計が2.4%の増加となりました。また、一般会計において昨年度計上していた受託事業費や地域総合整備資金貸付金などの特殊要因を除いた実質的な比較では1.3%の増加になります。

平成19年度の予算は、三位一体の改革で行われる税源移譲により市税収入の増加が見込まれますが、市債償還や職員の退職手当の増加などにより大変厳しい財政環境となったことから、大型建設事業を抑制するとともに、経費全般に渡る徹底した節減合理化と事務事業の見直しを行いました。

一般会計の主な歳出では、総務費が統一地方選挙や参議院議員選挙に伴う選挙費の増加などから対前年度比25.8%増加の11億750万円、土木費は北海道からの受託事業が平成18年度で終了し道路事業費が大幅に減少したことなどから対前年度比16.5%減少の18億5千862万円、消防費は高規格救急自動車購入費などから対前年度比23%増加の1億1千31万円となりました。

また、市債の償還金にあたる公債費は、葬斎場や市民プールの元金償還が始まることなどから対前年度比8.9%増加の34億2千654万円、給与費は職員数の削減や給与制度の見直し、職員給与の独自削減に取り組みましたが、団塊の世代の定年退職が始まることから対前年度比3.1%増加の44億2千686万円となりました。

一般会計の主な歳入では、税源移譲が始まる市税が対前年度比9.4%増加の54億3千62万円、地方交付税は対前年度比4.5%増加の52億5千700万円、退職手当債を含む市債は対前年度比15.7%増加の13億8千350万円を見込みました。

平成19年度予算編成で生じた不足額は、市の貯金である財政調整基金積立金から5億8千万円、北海道市町村備荒資金組合超過納付金から3億円を取り崩して補いました。

『一般会計歳入』

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の約4分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫（道）支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

『一般会計歳出』

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康の増進や病気の予防、ごみの処理などに関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

特別会計・事業会計

『国民健康保険特別会計』

国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

『学校給食事業特別会計』

子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を市内の小・中学校や保育所に調理・配送します。

『公共下水道事業特別会計』

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は昨年引き続き登別方面の下水道を整備します。

この整備で、登別市の下水道普及率は約89%、整備面積は約1,040㍍²になります。

若山浄化センターは、設備機器の更新を行います。

公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により、市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を行います。

『老人保健特別会計』

高齢者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部助成などを行います。

『簡易水道特別会計』

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

『介護保険特別会計』

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

『カルルス温泉スキー場事業特別会計』

カルルス温泉スキー場の運営を委託し、ウインタースポーツの振興と観光振興、カルルス地区の活性化を図ります。

『水道事業会計』

安全で良質な水の供給や送配水施設の整備などを行います。

各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成19年度 当初予算額	平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
一般会計	1,940,800	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8
特別会計	1,978,180	1,940,209	37,971	2.0
国民健康保険	684,360	612,360	72,000	11.8
学校給食事業	33,620	33,420	200	0.6
公共下水道事業	277,270	316,710	△ 39,440	△ 12.5
老人保健	683,520	673,700	9,820	1.5
簡易水道事業	3,370	4,260	△ 890	△ 20.9
介護保険	283,420	288,100	△ 4,680	△ 1.6
カルルス温泉 スキー場事業	12,620	11,659	961	8.2
水道事業会計	154,630	150,980	3,650	2.4
収益的支出	93,170	92,530	640	0.7
資本的支出	61,460	58,450	3,010	5.1
合 計	4,073,610	4,067,589	6,021	0.1

※平成18年度当初予算額には、平成18年8月30日に設置したカルルス温泉スキー場事業特別会計を含めています。

一般会計歳入

(単位：万円・%)

費 目	平成19年度		平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
	当初予算額	構成比			
市税	543,062	28.0	496,196	46,866	9.4
地方交付税	525,700	27.1	503,200	22,500	4.5
使用料及び手数料	61,652	3.2	63,353	△ 1,701	△ 2.7
国庫支出金	237,032	12.2	230,748	6,284	2.7
道支出金	85,455	4.4	133,892	△ 48,437	△ 36.2
繰入金	100,555	5.2	147,361	△ 46,806	△ 31.8
諸収入	126,667	6.5	101,545	25,122	24.7
市債	138,350	7.1	119,530	18,820	15.7
その他	122,327	6.3	180,575	△ 58,248	△ 32.3
合 計	1,940,800	100.0	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8

一般会計歳出

(単位：万円・%)

費 目	平成19年度		平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
	当初予算額	構成比			
議会費	14,884	0.8	16,622	△ 1,738	△ 10.5
総務費	110,750	5.7	88,017	22,733	25.8
民生費	585,010	30.1	594,050	△ 9,040	△ 1.5
衛生費	114,951	5.9	125,551	△ 10,600	△ 8.4
労働費	9,464	0.5	10,351	△ 887	△ 8.6
農林水産業費	6,258	0.3	28,755	△ 22,497	△ 78.2
商工費	26,909	1.4	34,688	△ 7,779	△ 22.4
土木費	185,862	9.6	222,531	△ 36,669	△ 16.5
消防費	11,031	0.6	8,967	2,064	23.0
教育費	85,341	4.4	97,990	△ 12,649	△ 12.9
公債費	342,654	17.6	314,603	28,051	8.9
給与費	442,686	22.8	429,275	13,411	3.1
予備費	5,000	0.3	5,000	0	0.0
合 計	1,940,800	100.0	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8

第1章 やさしさと共生するまち

第1節 安心して子どもを生ま育てられるまちをつくる

目標1 子育ての不安と負担の軽減

子育てに対する地域での支援や男女共同による子育ての推進、子育て環境の整備、子育ての経済的負担の軽減に努めます。

日胆はまなす里親会補助金 3万円

児童の育成や里親制度の普及啓発などを行っている同里親会を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

乳幼児医療費助成経費 8千561万5千円（うち道3千654万4千円）

就学前の乳幼児が、病院などで診療を受けた場合の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

ひとり親家庭等医療費助成経費 3千319万7千円（うち道1千459万8千円）

ひとり親家庭の母(父)と児童の保健の向上や福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

子育て支援センター運営経費 117万円（うち道98万4千円）

育児に不安などを感じている保護者に、育児相談や子育て講座を開催し、保護者の不安解消を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

家庭児童相談室・母子自立支援員経費 5万5千円

母子家庭の親や寡婦の自立と児童福祉の向上を図るため、母子自立・家庭相談員1名を配置しています。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害遺児手当支給経費 72万円

父母などが、交通事故などで死亡もしくは重度の障がいの状態となったとき、その児童を養育する保護者を支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

仕事と家庭両立支援事業費（ファミリーサポートセンター事業） 697万9千円 （うち国140万円）

保護者の仕事と子育ての両立できる環境をつくるため、ファミリーサポートセンターを開設しています。

センターでは、子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と援助を行える方（提供会員）の会員登録を行い、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員が子どもを保育所などへの送迎や自宅で預かるなどの事業を行っています。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

こどもショートステイ経費 38万4千円（うち国13万円）

保護者が病気などにより、児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を、児童養護施設（わかすぎ学園・室蘭市母恋南町）で養育します（利用者は、所得に応じた費用を負担）。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童入所施設措置費（助産施設分） 35万円 （うち国17万5千円、道8万7千円）

経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を、助産施設に入院させ、母子福祉の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

産後子育てママ派遣事業費 77万2千円（うち国40万円）

産後間もない家庭で、育児や家事などの支援を行う家族などがない世帯に、母親の体力的負担や子育ての不安を解消するため、ヘルパーを派遣し安心して日常生活が営めるよう支援します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

普通保育所運営管理経費 6千51万2千円

(うち保護者負担金3千528万9千円)

共働きや病人の介護などにより家庭における児童の保育が困難な世帯に、安心して子どもを生み育てることのできる環境と、充実した保育サービスを提供します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

幌別東保育所整備事業費 1千万円(うち市債750万円)

幌別東保育所の児童の安全を守るため、老朽化した床や屋上、玄関ポーチなどの改修工事、屋外非常階段の補修工事を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

登別保育所運営管理業務委託料 6千928万8千円

(うち保護者負担金1千397万2千円)

幼稚園と保育所の長所を取り入れた登別地区幼保一元化モデル事業を引き続き行うため、市立登別保育所の運営管理業務を学校法人登別立正学園に委託します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費(交流事業) 78万円

保育所入所児童が、人々との交流を学ぶため、高齢者や異年齢児童との交流を行います。

富士・鶯別・栄町保育所…高齢者との交流

幌別東保育所…高齢者や異年齢児童との交流

登別保育所…高齢者や小学生などとの交流

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費(あそびの広場) 60万円

乳幼児を持つ保護者を対象に子どもとの関わりや遊びを指導し、育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親同士の交流を深めます。

場所 中央子育て支援センター、登別子育て支援センター

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費（障がい児保育） 28万3千円

心身に障がいのある児童や発育・発達に心配のある児童の健全な発達を促すため、保育所で健常児と一緒に保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費（延長保育） 61万4千円

保護者の勤務地や勤務時間などの都合による保育時間の延長ニーズが増えているため、全保育所で延長保育を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費（休日保育） 30万2千円

日曜日や休日に保育所入所児童の保護者が、勤務のため保育ができないときに、富士保育所で児童を保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

特別保育科目実施経費（一時保育） 270万円（うち道18万円）

保護者が、疾病や事故、災害などで一時的に家庭での保育ができないときに、児童を登別保育所で保育します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

保育所の広域入所委託料 166万1千円

勤務地の関係から、他市町村の保育所へ入所を希望する保護者の利便性を図るため、他市町村の保育所で児童の保育を行います。

平成19年度委託児童見込み数 2人

▶ 問い合わせ 子育てグループ

児童館・児童センター運営管理経費 886万3千円

安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくり、地域で担う子育てを支援するため、児童館などに児童厚生員を配置し、遊びを通して児童の健全育成を図ります。

NO	児童館名	住所	電話番号
1	登別児童館	登別東町4丁目19-2	83-3493
2	富浦児童館	富浦町1丁目52-3	83-1987
3	幌別児童館	幌別町4丁目10-3	85-2802
4	常盤児童館	常盤町2丁目34-1	85-1840
5	富士児童館	富士町1丁目1-4	85-7760

6	富 浜 児 童 館	栄町2丁目18-4	86-7187
7	美 園 児 童 セ ン タ ー	美園町5丁目36-4	86-4591
8	鷺 別 児 童 館	鷺別町1丁目36-3	86-2766
9	若草つどいセンター（児童室）	若草町4丁目21-1	86-1208
10	登別温泉公民館（児童室）	登別温泉町17	84-2522

▶ 問い合わせ 子育てグループ

放課後児童クラブ運営経費 328万6千円

放課後児童クラブは、就労などにより昼間保護者のいない児童が、放課後や夏・冬・春休みの期間中、安心して過ごせる場所として設置しています。

富岸児童クラブ（富岸青少年会館内）、常盤児童クラブ（常盤児童館内）、若草児童クラブ（若草小学校内）、青葉児童クラブ（老人憩の家桜木の家内）
幌別西児童クラブ（幌別西小学校内）

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園就園奨励費補助金 4千818万5千円（うち国1千204万6千円）

私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、個人市民税の所得割課税額が18万3千円以下の世帯へ補助金を交付し支援します。

- ・第1子は、5万7千500円から14万1千900円まで。
- ・第2子は、8万1千円から18万5千円まで。
- ・第3子以降は、10万4千円から25万7千円まで。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園特別就園奨励費補助金 620万円

私立幼稚園に入園する児童の保護者の経済的負担の軽減を図るため、入園時に2万円の補助金を交付します。

対象人数 310人

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園教材教具費等補助金 254万4千円

市内の私立幼稚園に対し、教材教具の購入資金の一部を補助し、教育内容の充実を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園学校給食指導経費 70万円

私立幼稚園に通園する5歳児を対象に、10日間程度の学校給食指導を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

私立幼稚園協会教職員研修費補助金 50万円

『登別市私立幼稚園協会』教職員の研修費の一部を補助し、資質の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

常用雇用転換奨励給付金 30万円（うち国22万5千円）

母子家庭の生活の安定を図るため、母子家庭の母親を短期労働者から常用労働者に転換した場合、一定期間経過後、事業主に奨励金を支給します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

富士児童館整備事業費 200万円

老朽化した富士児童館の屋根の改修工事を行います。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

乳幼児食育事業費 6万1千円

子どもの健やかな発達を願い、乳幼児の保護者を対象に正しい栄養の知識を身に付けていただくため、食事に関する講話や調理実習を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

目標2 児童虐待の防止

親自身のストレスや精神的な問題などを解消し、心の健康を保てるよう支援するとともに、児童虐待の予防や早期発見、早期対応をするため、関係機関との連携を強化し、子どもの健全育成に努めます。

第2節 市民一人ひとりが生涯を通じて

健康に暮らせるまちをつくる

目標1 市民の主体的な健康づくり意識の確立

登別市健康増進計画『健康のぼりべつ21』の推進を図るほか、『一次予防』に重点をおいた市民の健康づくりを支援し、健康増進と発病の予防に努めます。

北海道難病連運営事業補助金 5万4千円

難病問題の社会的啓蒙や難病についての正しい知識の啓発を通して、難病患者とその家族の福祉の増進を図る財団法人北海道難病連を支援します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

健康づくり推進協議会経費 5万円

市民の健康づくり推進のため、老人保健法や母子保健法に基づいた実施計画の策定や運営について、協議を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

老人保健事業費

・健康手帳の交付 16万9千円（うち国3万5千円、道3万6千円）

健康管理を推進するため40歳以上の方に、健康データを記録できる健康手帳を交付します。

・健康教育 138万円（うち国25万9千円、道25万9千円）

健康の増進や生活習慣病などの知識の向上を図るため、40歳以上の方を対象にした医師や保健師、栄養士による健康に関する講演会などを開催します。

・健康相談 45万円（うち国8万円、道8万円）

生活習慣病についての相談や指導を行い、健康の保持・増進を図ります。

・健康診査 5千186万2千円（うち国569万7千円、道569万7千円）

病気の早期発見・早期治療の促進を目的に、基本健康診査や各種がん検診、肝炎ウイルス検診などを行います。

・訪問指導 35万5千円（うち国2万2千円、道2万2千円）

保健師などが、健康診査で要注意と診断された方を訪問し、保健指導や栄養指導を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

目標2 保健予防活動の充実

健康診査や訪問指導、予防接種など、生涯各期に対応した適切な保健予防活動を推進します。

母と子の健康づくり事業費 818万3千円

・ 幼児歯科保健対策

フッ素塗布やむし歯予防の健康教室を行います。

・ 乳幼児健康診査

(4カ月児健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査)

乳幼児の健康管理と育児支援のため、乳幼児健康診査を行います。

・ 母子栄養管理

8カ月児などを対象に育児相談、栄養相談を行います。

・ 妊婦健康診査

妊娠期の健康診査の助成と、健康管理のための保健指導を行います。

・ 母子訪問指導

保健師が、乳幼児のいる家庭を訪問し保健指導を行います。

・ すこやかマタニティ教室

マタニティ教室を開催し、親になる準備の支援や子育て支援を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

予防接種経費 5千417万5千円

乳幼児等の感染症による病気の発生を未然に防ぐため、BCG、ポリオ、麻疹風しん混合、三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)、インフルエンザなどの予防接種を行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

エキノコックス症対策経費 43万9千円

肝機能に障害を引き起こすエキノコックス症の感染予防の周知や血清検査などを行います。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

女性の健康づくり推進事業費 86万4千円

検診機会の少ない年代の女性を対象に健康診査を行い、生活習慣病の予防や健康づくりの意識高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

ヘルスパイオニアタウン事業 5千749万2千円

医療費抑制のため、市民の健康づくりにつながる事業を行います。

主な事業 健康づくりパンフレットの配布、水中運動教室受講者助成、健康まつり、保健師派遣事業、短期人間ドック助成、ガン検診等助成、医療費通知、市民スポーツ大会、脳ドック助成、インフルエンザ予防接種助成、国保ヘルスアップ事業など

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

老人保健 68億100万円

(うち国22億3千263万円、道5億5千815万7千円)

高齢者の医療費負担を軽減するため医療費の一部を助成します。

平成19年度見込み

受診件数 18万4,000件

受信者数 6,453人(月平均)

医療費 105万3,928円(1人当たり)

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

目標3 地域医療の充実

市民の医療ニーズ(需要)に応える医療体制の確保と医療環境の整備充実を図るとともに、休日・夜間における急病患者に対する救急医療体制の確保などに努めます。

地域医療対策等経費 48万円

年末年始や日曜日における歯科救急患者の診療を、室蘭歯科医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

広域救急医療対策事業負担金 820万円

登別・室蘭市内の5病院と西胆振の2病院を加えた7病院が、休日・夜間における重症救急患者の診療を確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

小児救急医療支援事業負担金 265 万円

休日・夜間における重症の小児救急患者の診療を、室蘭市医師会や胆振西部医師会と連携しながら確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

自動体外式除細動器購入費 57 万円

救命率の向上を図るため、登別温泉支署に自動体外式助細動器を配備します。
また、市民を対象に応急措置の知識と技術の普及を図るため、訓練用自動体外式助細動器を整備します。

▶ 問い合わせ 消防本部

救急医療啓発普及事業負担金 150 万円

登別・室蘭市内の5病院が、休日・夜間における外来救急患者の診療を確保します。

▶ 問い合わせ 健康推進グループ

高規格救急自動車購入費 2 千 900 万円

(うち道1千445万4千円、市債1千290万円)

消防本署に配置している高規格救急自動車を入れ換え、急病患者の的確な救命措置の充実強化を図ります。

▶ 問い合わせ 消防本部

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

目標1 地域で支え合う福祉活動の確立

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、市と市民は一体となって、役割を分かち合いながらお互いを支え合える地域づくりを推進します。

民生委員児童委員協議会補助金 282 万 6 千円

市内6地区の民生委員児童委員協議会の相互連携と活動を支援します。

(登別地区、中央東地区、中央西地区、緑陽地区、美園・若草地区、鷺別地区)

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

民生委員児童委員活動経費 902万9千円（うち道874万7千円）

高齢者や障がい者などの福祉問題の相談者として活躍する民生委員児童委員の活動を支援します。

民生委員児童委員数 129人

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域福祉活動促進事業補助金 1千458万9千円

社会福祉協議会が行う『ふれあいのまちづくり事業』や『ふれあい広場運営事業』などの事業費や、『登別市ボランティアセンター』の運営費の一部を支援します。

・ふれあいのまちづくり事業

市民が、介護やボランティア活動、法律、年金、保健などの生活・福祉問題について相談できる『ふくしなんでも相談』の実施や、ボランティア体験月間などが行われます。

・ふれあい広場運営事業

しんた21を会場にボランティア団体による手話や点字体験、車いすの試乗、ボランティア活動の紹介などが行われます。

・登別市ボランティアセンター（しんた21内）運営事業

ボランティアをしたい方や受けたい方の登録・紹介を行うほか、ボランティアに関する講演会の開催などボランティア活動を推進する機関です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

社会福祉事業推進補助金 1千63万8千円

社会福祉協議会の福祉事業を推進するため、職員や福祉活動専門員を設置する経費を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

目標2 高齢者福祉の確立

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう長寿社会の基盤や介護予防など、地域社会が一体となった高齢者保健福祉サービスの確立を図ります。

老人趣味の作業所運営経費 30万1千円

趣味を通じた高齢者の生きがいをづくりを行うため、老人趣味の作業所を開設しています。

- ・ **事業内容**…陶芸など
- ・ **場所**…幌別町7丁目4-4
- ▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

長寿祝金支給経費 15万2千円

高齢者の長寿を祝い100歳になられた方に『長寿祝金』を贈呈します。
平成19年度は、3人に贈呈を予定しています。

- ▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

生きがい対策事業補助金 20万円（うち道10万1千円）

高齢者の生きがい対策を目的に事業を行う登別市老人クラブ連合会を支援します。

- ・ **主な事業**…女性リーダー研修会、ゲートボール大会、
グラウンドゴルフ大会など
- ▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ連合会補助金 100万円（うち道28万3千円）

高齢者福祉活動の中心的な役割を果たす老人クラブ連合会が行う事業を支援します。

- ・ **主な事業**…高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進、交通安全、
防災対策運動の推進、女性リーダーの育成推進、
電話・移送サービス事業など
- ▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人クラブ補助金 405万円（うち道93万1千円）

地域社会に貢献する老人クラブの行う事業を支援します。
(老人クラブ数 45団体)

- ・ **主な事業**…社会奉仕活動、世代間交流、交通安全運動、ゲートボール、
パークゴルフ大会、室内ゲーム大会、芸術活動など
- ▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

敬老会補助金 857万7千円

地域に貢献してきた高齢者を祝福するため、町内会などが行う71歳以上の方を対象とした敬老行事を支援します。

平成19年度の対象予定者数は、8千570人です。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給金 2千318万4千円

特別養護老人ホーム緑風園に、入浴サービスと給食サービスを行うデイサービスセンターを設置した借入金の補給を行い、在宅寝たきり老人などの家族介護の支援を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

老人憩の家整備委託料 800万円

老朽化した『老人憩の家』の維持や補修について、町内会などに委託し整備を行います。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（千寿会） 7千万円（うち市債7千万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、医療法人社団千寿会が行う介護老人保健施設の増築を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

地域総合整備資金貸付金（三樹） 8千800万円（うち市債8千800万円）

高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、株式会社三樹が行う有料老人ホームの建設を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

外国人高齢者・障がい者福祉給付金 36万円（うち道36万円）

国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障がい者が、安定した生活を送れるよう福祉年金を支給します。

平成19年度支給予定者 3人

▶ 問い合わせ 高齢・介護グループ

社会福祉法人利用者負担軽減助成金 49万8千円（うち道37万3千円）

介護サービスを提供する社会福祉法人などが、生計の特に困難な方の利用者負担額を軽減したときに費用の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 高齢・介護グループ

老人医療費助成経費（道老） 3千868万1千円（うち道1千934万円）

北海道は、高齢者の医療費の軽減を図るため、医療費の一部を助成しています。

※この助成制度は、対象年齢を毎年1歳ずつ引き上げ、平成20年3月末で廃止する予定です。

・ **道の助成対象**…昭和14年7月31日以前に生まれた70歳未満の一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、高齢者と児童だけの世帯の方

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

養護老人ホーム恵寿園事業費 4千759万4千円

環境上の理由や経済的な理由により、居宅で養護を受けることが困難な高齢者を、養護老人ホームに入園させ、個人としての十分な尊重と共同生活の円滑化を図り、公共の福祉に配慮しながら運営します。

▶ 問い合わせ 恵寿園

シルバー人材センター補助金 956万円

高齢者が長年培ってきた知識や経験、技術などを生かし、就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を図る事業に取り組んでいる同センターを支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

北海道後期高齢者医療広域連合負担金 415万2千円

75歳以上の高齢者を対象とする新しい医療制度が、『後期高齢者医療制度』として平成20年度から始まります。この制度の運営は道内の全市町村が加入する『北海道後期高齢者医療広域連合』が行い、今年3月1日に設立されたので、同連合会への負担金です。

※ 後期高齢者医療制度の運営は、都道府県単位で全市町村が加入する広域連合が行うこととされています。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

在宅高齢者保健福祉推進支援経費 1千158万円

在宅高齢者の保健福祉向上のため支援を行います。

高齢者等緊急通報機器設置 15台設置予定

布団乾燥サービス 36件予定

電話サービス 8人対象

移送サービス 年間契約

▶ 問い合わせ 高齢・介護グループ

介護保険

・介護認定審査会の運営 716万9千円

保健・福祉・医療の各分野の専門家24人で構成され、介護認定申請者にどの程度の介護が必要となるかを審査します。

・介護認定調査 1千641万円

介護認定申請者の介護認定を行うため、介護認定調査員が介護を必要とする方の身体の状態などの聞き取り調査を行います。

・介護保険運営協議会の運営 46万8千円

介護保険運営協議会は、委員10人で構成し、国から義務付けられている『市町村介護保険事業計画』の進行や管理、予算、給付状況についての協議や苦情処理の審査などを行います。

【地域支援事業】

・介護予防事業費

介護予防特定高齢者施策事業費 79万7千円

(うち国20万9千円、道11万円)

65歳以上で生活機能が低下している虚弱な方を対象に、通所型または訪問型の介護予防事業を行います。

介護予防一般高齢者施策事業費 204万5千円

(うち国51万1千円、道25万5千円)

一般の高齢者を対象に、介護予防や健康づくりを目的とした健康教室や健康相談、体力測定会を行います。

・包括的支援事業費 3千992万円(うち国1千617万8千円、道809万3千円)

高齢者が住みなれた地域で自立した生活を送れるように、介護・福祉・医療から生活面までのあらゆる相談・支援を、地域包括支援センターを中心にを行います。

・任意事業費 255 万円（うち国 103 万 3 千円、道 51 万 6 千円）

高齢者ができる限り在宅で生活していただくために、住宅改修支援事業や家族介護慰労事業、介護用品（紙おむつ）の給付事業や認知症サポーター養成事業を行います。

【保険給付】

・居宅介護・介護予防サービス計画給付費 9 千 660 万円

（うち国 2 千 163 万円、道 1 千 469 万 2 千円）

要介護・要支援認定者が、指定居宅介護支援事業者や指定介護予防支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）、地域包括支援センター職員などに、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

・特例居宅介護・介護予防サービス計画給付費 70 万円

（うち国 15 万 6 千円、道 10 万 6 千円）

要介護・要支援認定者が、指定居宅介護支援事業者以外の支援事業者に依頼して、居宅介護・介護予防サービス計画を作成してもらう費用の全額を給付します。

・居宅介護・介護予防サービス給付費 7 億 4 千 28 万円

（うち国 1 億 6 千 577 万 9 千円、道 1 億 1 千 261 万円）

要介護・要支援認定者が、在宅で訪問看護や通所介護などのサービスを受けた介護費用の 9 割を給付します。

・特例居宅介護・介護予防サービス給付費 70 万円

（うち国 15 万 6 千円、道 10 万 6 千円）

要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由で居宅サービスを受けた介護費用の 9 割を給付します。

・居宅介護・介護予防福祉用具の購入 720 万円

（うち国 161 万 2 千円、道 109 万 5 千円）

要介護・要支援認定者が、購入した腰掛け便座や入浴補助用具など、一部の福祉用具の購入費の 9 割（限度額 10 万円）を給付します。

・居宅介護・介護予防住宅改修費 2 千 460 万円

（うち国 550 万 8 千円、道 374 万 1 千円）

要介護・要支援認定者が、自宅の手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修にかかる費用の 9 割（限度額 20 万円）を支給します。

・施設介護サービス給付費 13 億 231 万 2 千円

（うち国 2 億 9 千 159 万 9 千円、道 1 億 9 千 807 万円）

要介護認定者が、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所し、介護サービスを受けた介護費用の 9 割を給付します。

- ・ **特例施設介護サービス給付費 50万円（うち国11万2千円、道7万6千円）**
要介護認定者が、要介護認定の申請前に、やむを得ない理由などで介護老人福祉施設などに入所し、サービスを受けた介護費用の9割を給付します。
 - ・ **地域密着型介護・介護予防サービス給付費 2億8千22万7千円**
（うち国6千274万5千円、道4千261万9千円）
要介護・要支援認定者が、グループホームなどの地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を支給します。
 - ・ **特例地域密着型介護・介護予防サービス給付費 70万円**
（うち国15万6千円、道10万6千円）
要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで地域密着型サービスを利用した際に介護費用の9割を給付します。
 - ・ **特定入所者介護・介護予防サービス費 1億1千450万円**
（うち国2千563万7千円、道1千741万4千円）
低所得の要介護・要支援認定者が、介護保険施設に入所・短期入所した際の食費・居住費の一部を給付します。
 - ・ **特例特定入所者介護・介護予防サービス費 70万円**
（うち国15万6千円、道10万6千円）
低所得者が、要介護・要支援認定の申請前に、やむを得ない理由などで施設サービス・短期入所サービスを利用した際の食費・居住費の一部を支給します。
 - ・ **高額介護・介護予防サービス費 4千376万円**
（うち国979万9千円、道665万5千円）
要介護・要支援認定者の利用者負担額の軽減を図るため、一定額を超えた分を所得に応じて支給します。
 - ・ **介護給付費請求書審査支払手数料 316万2千円**
（うち国70万8千円、道48万1千円）
要介護・要支援認定者が、サービスを正しく利用されているかの内容を、国民健康保険連合会に審査してもらうための手数料です。
- ▶ 問い合わせ 高齢・介護グループ

目標3 障がい者福祉の確立

在宅福祉の支援や医療・相談支援、施設整備の充実、就労支援など、地域社会が一体となった障がい者保健福祉サービスの確立を図ります。

重度障がい者（児）福祉タクシー関係経費 685万1千円

バスなどの公共交通機関の利用困難な重度の障がい者が、タクシーを利用するときの料金を一部助成します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

身体障がい者自動車燃料費助成金 43万4千円

市から車いすを支給されている身体障がい者で、日常生活に使用する自動車の燃料費のうち、税額相当分を助成します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

手をつなぐ育成会補助金 10万円

知的障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、知的障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同育成会を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

視力障害者協会補助金 5万円

視覚障がい者に対する理解やボランティア活動などの啓蒙を図り、視覚障がい者の自立更生と社会参加活動の促進を図る同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

登別身体障害者福祉協会補助金 46万円

身体障がい者の文化活動やスポーツなどを通し、障がい者の社会参加の促進などの活動を行う同協会を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

肢体不自由児（者）父母の会補助金 20万円

肢体不自由児（者）の自立更生と社会参加を目的に活動する父母の会を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

小規模通所授産施設（すずかけ作業所）運営経費 56万2千円 （うち道42万1千円）

就職困難な心身障がい者を通所させ、作業や生活の訓練を行い、社会人としての自立を図ります。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

精神障がい者社会復帰施設通所交通費助成金 20万8千円(うち道10万3千円)

精神障がい者の社会復帰や自立、社会経済活動への参加を図るため、通所授産施設や地域共同作業所などに通所する交通費を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

精神障がい者通所授産施設運営費補助金 126万6千円

相当程度の作業能力を有する精神障がい者に、訓練や指導などの社会復帰のための活動を行う医療法人社団千寿会を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

重度心身障がい者医療費助成経費 1億8千410万3千円(うち道6千447万円)

身体障害者手帳を交付されている重度(1級、2級、3級【内部障がい】)の障がいのある方や重度の知的障がいと診断された方の医療費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 国保・年金グループ

のぞみ園運営管理経費 161万6千円(うち道25万8千円)

障がいのある児童が児童デイサービスセンターで、日常生活における基本的な動作や集団生活への適応の訓練などを行います。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

障がい認定審査会経費 574万3千円

障がい者の介護給付サービスにあたり、障がい程度区分認定のため審査を行います(委員10人、年間26回を開催予定)。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

障がい者補装具給付費 2千543万8千円

(うち国1千271万9千円、道635万9千円)

障害者自立支援法に基づき、障がい者の日常生活で、身体機能を補うために用いる補装具の交付や修理を行います。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

高額障がい者福祉サービス経費 150万円（うち国75万円、道37万5千円）

障がい者自立支援サービスの利用者負担が世帯上限額を超えた場合に、利用者の負担を軽減するため、その超えた分を高額福祉サービス費として支給します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

施設入所支援介護給付費 4億2千421万9千円 （うち国2億1千210万9千円、道1億605万4千円）

介護要支援の該当になった障がい者の施設入所などにかかる費用を給付します。

身体障がい者施設入所者等 52人

知的障がい者施設入所者等 125人

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

居宅介護給付費 9千294万円（うち国4千647万円、道2千323万5千円）

介護要支援の該当になった障がい者の居宅支援などにかかる費用を給付します。

ショートステイサービス関係 24人

ホームヘルプサービス関係 59人

生活介護サービス関係 20人

ケアホームサービス関係 34人

児童デイサービス関係 60人

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

自立訓練・就労移行支援等給付費 4千382万円 （うち国2千191万円、道1千95万5千円）

介護要支援の該当になった障がい者の自立訓練や就労移行支援などにかかる費用を給付します。

精神障がい者グループホーム 17人

知的障がい者グループホーム 13人

通勤寮 5人

就労支援 10人

機能訓練 10人

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

自立支援医療費 907万円（うち国450万円、道225万円）

障害者自立支援法による自立支援医療（更生医療）にかかる医療費を支給します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

地域生活支援事業費

障害者自立支援法による障がい者の地域生活支援にかかる各種事業を行います。

・日常生活用具給付費 1千461万6千円

障がい者（児）に日常生活用具を給付します

・障害者自立更生促進助成事業費 51万円

在宅の障がい者の自立更生に要する経費のうち、自動車運転免許取得や自動車改造にかかる経費を助成し、社会活動への参加促進を図ります。

・総合相談支援事業費 1千716万9千円

障がい者などの相談に応じて必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用に関する援助、調整などの支援を行うとともに、地域関係機関のネットワーク化の促進、知的・精神障がい者の住宅入居促進支援を行い、障がい者などの地域生活の支援を行います。

・コミュニケーション支援事業費 89万3千円

意思疎通を図ることに支障のある障がい者などに、手話通訳者の派遣などを行います。

・移動支援事業費 216万1千円

屋外での移動が困難な障がい者を個別やグループで支援を行います。

・地域活動支援センター事業費 2千30万8千円

障がい者などに、創作活動や生産活動の機会の提供と社会との交流の促進などの事業を行うとともに、障がい者の能力を生かした生きがいや社会参加の促進、就業機会の増大を図る活動を行う事業者を支援します。

・訪問入浴サービス事業費 58万1千円

訪問による入浴サービスを行い、身体障がい者の居宅生活を支援します。

・更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費 43万8千円

施設に入所などの障がい者に必要な更生訓練経費の支給を行います。

また、施設に入所していた障がい者が、施設を退所し一般就労などを行う場合に支度金を給付します。

・社会参加事業費 32万4千円

視力障がい者などに情報提供を行うため、市広報紙などを点訳や音声などにより作成します。

・ **日中一時支援事業費 597万2千円**

介護を行う方の疾病などの理由により、障がい者支援施設などへ宿泊を伴わない短期間の入所を行い、介護などの便宜を供与するショートステイや放課後などの活動の場の提供、介護者の一時的休憩を目的とした障がい児タイムケアを行います。

・ **社会参加等事業補助金 43万9千円**

障がい者などの社会参加を促進するため、手話通訳者の養成、スポーツ・レクリエーション指導員の養成にかかる経費の助成を行うとともに、障がい者などの団体のボランティア活動による支援を行います。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

特別障害者手当等支給経費 3千2万9千円（うち国2千245万6千円）

重度の障がいにより、日常生活において常時介護を必要とする障がい者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

重度心身障害児介護手当支給経費 804万円

重度の障がいのある児童の保護者に手当を支給し、障がい児の福祉の増進を図ります。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

第26回全道肢体不自由児者福祉大会補助金 50万円

市内で開催される第26回全道肢体不自由児者福祉大会の開催経費の一部を支援します。

▶ 問い合わせ 障害福祉グループ

目標4 自立した暮らしへの支援

生活基盤の弱い立場にある市民を支援する制度の適切な運用を図るとともに、生活安定と経済的自立の促進の支援などに努めます。

社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫） 500万円

所得の低い世帯などに、応急援護や高額療養費などの資金を貸し付け、その世帯の自立更生と生活の安定を図る登別市社会福祉協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

自立支援教育訓練給付金 60万円（うち国45万円）

母子家庭の生活の安定を図るため、母親が職業相談を通じて自主的に職業能力開発の教育訓練を受けた場合、終了後に訓練給付金を支給します。

▶ 問い合わせ 子育てグループ

災害見舞金 51万円

災害により、大きな被害を受けた市民に見舞金を支給します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

第4節 男女共同参画社会の実現

目標1 男女の人権が尊重される社会の実現

男女平等の条件づくりや女性の人権保護に努めるほか、男女共同参画推進条例制定の検討を進めます。

男女共同参画社会づくり推進経費 21万円

女性と男性がお互いの人権を尊重し合い、それぞれの個性と能力を発揮しながら、共に支え合う男女共同参画社会の形成を目指します。

- ・ **男女共同参画社会づくりの推進**…『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』の着実な推進を図ります。男女共同参画講演会、学習会などの開催、男女共同参画を推進する市民団体の活動を支援します。
- ・ **民間シェルター運営補助金**…夫や恋人などの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行っている民間シェルター『NPO法人ウイメンズネット・マサカーネ』の運営を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

目標2 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現

女性の社会参画の促進に努めるほか、女性が安心して働き続けることができる社会の実現を目指します。

三市合同女性国内派遣研修負担金 31万円

地域で活動している女性を先進地に派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行います（参加者は参加経費の一部を負担）。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第2章 自然とともに暮らすまち

第1節 環境への負荷の少ないまちをつくる

目標1 環境に配慮した暮らしの構築

省資源・省エネルギー型生活の実現を目指すことができるよう啓発するほか、市民の健康の保護、生活環境や自然環境の適正な保全を図ります。

総合的な環境保全の推進経費 47万2千円

登別市環境基本計画に基づき市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担と責任のもと、自主的・積極的な環境保全の取り組みを総合的・計画的に行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

野犬掃討、畜犬登録等経費 884万円

犬による人や家畜などへの危害を防止するため、野犬掃討や畜犬の登録、狂犬病の予防注射を行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

公害対策経費 151万8千円

美しい自然を守り、住みよい環境をつくるために交通騒音調査や河川の水質測定調査、大気中のダイオキシン類の測定調査などを行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

目標2 循環型社会の構築

ごみの減量化やリサイクル活動の啓発を促進するとともに、廃棄物の適正な処理を推進します。

ごみ減量化推進等経費

・リサイクル・ごみ減量化啓発経費 102万1千円

びんやペットボトルなどの資源ごみを回収し、ごみの減量化や資源の再利用を図るほか、ガーデニング講習会やリサイクル教室などを開催してリサイクルに対する意識の高揚を図ります。

・ **ごみ袋管理経費 3千487万6千円**

費用負担の公平化やごみの減量、処理費用の軽減などを図るため、家庭から排出されるごみの有料化を継続実施し、指定ごみ袋などの製作と管理を行います。

・ **ごみステーションネット化推進事業補助金 16万8千円**

ごみステーションに出されたごみにネットを掛けることで、周辺的美観や衛生を保持し、ごみ収集の効率化を図るため、町内会などに対し、ごみネット購入費の一部助成を行う登別市衛生団体連合会に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

不法投棄等防止経費 17万2千円

不法投棄やポイ捨て防止のため、防止看板などを設置します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

衛生団体連合会運営事業助成金 50万円

町内会などで組織し、地域内の美化実践活動を推進する登別市衛生団体連合会を支援します。

事業内容

春・秋の登別クリーン作戦

清潔で美しいまちづくりのための各種事業の啓発活動

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発

ごみステーションの管理

クリーンリーダーの育成

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

資源回収団体奨励金 570万円

新聞紙や金属類、びんなどの再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に奨励金を交付します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

リサイクルまつり開催経費 14万2千円

リサイクルまつりを通して、市民にごみの減量やリサイクル意識の啓発を促し、循環型社会の形成に努めます。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

^{じんかい}**塵芥収集運搬業務委託料 1億1千718万円**

家庭から出された燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ、粗大ごみの収集や運搬を委託して行います。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

クリンクルセンター・最終処分場運営管理経費 6億5千223万7千円

クリンクルセンターや廃棄物管理型最終処分場、埋め立て処分の終了した千歳最終処分場をそれぞれ適正に運営管理します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

目標3 生活排水の適正な処理

下水道処理施設やし尿処理施設の整備による生活排水などの処理を適正に行い、水質汚濁を防ぎ、環境負荷の軽減に努めます。

し尿収集運搬業務委託料 4千987万5千円

し尿収集量 約9千500キロリットル

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

し尿処理施設整備事業費 550万円

老朽化している現施設を補修整備し、し尿などを適正に処理します。

▶ 問い合わせ 環境対策グループ

公共下水道事業

衛生的な住環境の推進と公共用水域の水質保全を目的に公共下水道の整備を進めています。

^{かんきょ}**・管渠維持費 6千194万1千円**

管渠の清掃や補修に要する経費などです。

・浄化センター費 1億7千116万8千円

若山浄化センターの運転管理や維持管理経費です。

・排水設備促進費 886万円

家庭などのトイレの水洗化に伴う補助金や水洗トイレ改造などに伴う利子の補給金などです。

・ **下水道事業費 9億9千232万1千円**

(うち国1億8千900万円、市債7億1千860万円、受益者負担金等8千472万1千円)

登別東町の一部と登別本町の一部の管渠の敷設を行います。

▶ 問い合わせ 下水道グループ

第2節 自然を生かした潤いのあるまちづくり

目標1 人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出

『登別市みどりの基本計画』の実現と、地域に根ざした環境保全活動や、自然環境学習の輪を広げるため、幅広い視野を持った実践的な指導者の育成や自然に学び、自然とのふれあいを体験する場の整備と公園施設の適正な維持管理に努め、みどりと調和のとれた環境づくりを進めます。

葬斎場運営管理経費 1千945万円

葬斎場の機械設備などの保守点検や周辺整備を行い、適正な運営管理に努めます。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

墓地管理経費 638万9千円

墓地内の適正な維持管理に努めます。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

墓地施設整備事業費 700万円

墓地施設の機能や景観を整備します。

富浦墓地 排水設備改良工事、排水溝の地中埋設、舗装改良など

亀田霊園 法面改良工事、階段の改修、芝張り付けなど

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

市民農園経費 50万5千円

自然とのふれあいや高齢者の生きがいがづくりなどの場として開園します。

- ・開設期間…5月～10月
 - ・場所…札幌市204-1
 - ・区画数…40区画（1区画約50平方メートル）
 - ・施設…水道施設、簡易トイレ
 - ・利用料…1区画7千円
- ▶ 問い合わせ 農林水産グループ

森林愛護啓蒙事業補助金 10万円

山火事や遭難防止のために、巡視活動や啓発チラシの配布、看板などの設置を行い、入山者へのマナー遵守の呼びかけを行う森林愛護組合連合会を支援します。

- ▶ 問い合わせ 農林水産グループ

民有林造林推進事業補助金 973万1千円

森林の荒廃を防ぎ、森林資源を守るため、植栽や間伐、幼木を保護するための草刈りなどを行う森林所有者を支援します。

- ▶ 問い合わせ 農林水産グループ

森林整備地域活動支援交付金 87万5千円（うち国43万7千円、21万8千円）

森林所有者の経営意欲の低下や林業従事者の減少、高齢化などにより森林の適切な管理活動が十分に行われなくなっており、このままでは森林が及ぼす多面的機能に支障が生ずる恐れがあるため、森林所有者による計画的な森林施業が適切に行われるようその活動を支援します。

- ▶ 問い合わせ 農林水産グループ

亀田記念公園整備事業費 1千500万円（うち市債1千120万円）

高齢者や障がい者などが安全で快適に利用できるよう『北海道福祉のまちづくり条例』に基づく施設整備の基準により、施設のバリアフリー化を図りながら整備を行います。

整備内容 園路工事、前庭整備工事

- ▶ 問い合わせ 土木公園グループ

キウシト湿原緑地保全事業費 4千850万円

(うち国1千900万円、市債2千520万円)

環境省から重要湿地に選ばれているキウシト湿原の保全に必要な用地を取得するとともに、保全に向けた立ち入り防止柵の設置などを行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

緑化推進経費 425万円

- ・ **市民緑化推進事業**…町内会などを対象に、希望する樹木や多年草などを配布し、公園などの公共施設に植栽します。
- ・ **沿道美化事業**…道道弁景幌別線などの沿道花壇へ、町内会や商店会などの参加のもと、花植えを年2回行います。(春…パンジー、夏…ベゴニア)
- ・ **試験育苗事業**…町内会などの協力のもと、ビニールハウス内で種から花苗を育てる試験育苗を行います。
- ・ 『**みどりの講演会**』『**みどりの教室**』など…自然やみどりについての講演会や家庭園芸などの講習会を開きます。
- ・ **グリーンデータバンク**…家庭で不要になった樹木などの有効活用を図るため、樹木の提供情報などを『広報のぼりべつ』に掲載するとともに、受け取り希望者への仲介を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

ネイチャーセンター運営管理経費 3千872万5千円

宿泊型の自然体験学習施設『ふおれすと鉾山』は、人と自然のふれあう場として、自然環境に調和したさまざまな体験活動を推進するため、平成19年度から指定管理者に管理委託して運営します。

▶ 問い合わせ ネイチャーセンター

(仮称) 苫小牧広域森林組合出資金 8万円

登別市を管轄する森林組合の経営安定と組織の強化を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

第3節 安全に安心して暮らせるまちづくり

目標 1 総合防災体制の整備

災害から市民の生命・財産を守るため、防災計画の見直しを進めるとともに、防災訓練の実施や災害予想区域図（ハザードマップ）の有効活用を図りながら、災害に備えた心構えなどの普及啓発や防災資機材の整備に努めるほか、非常用食糧の適正な備蓄などに努めます。河川災害防止対策としては、民有地内を流下している未整備河川の治水機能を向上させるため、用地処理を含めた護岸整備を進めます。

総合防災訓練経費 136 万円

災害発生時に適切で迅速な行動が行えるよう、防災関係機関と地域住民が一体となり防災訓練を行うとともに防災意識の高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 総務グループ

防災資機材購入整備費補助金 120 万円

町内会などによる自主防災組織の防災活動に要する資機材購入に対し、補助金を交付し防災活動を支援するとともに意識の高揚を図ります。

▶ 問い合わせ 総務グループ

林業振興経費 123 万 6 千円

森林資源の保護や治山施設の効果を高めることにより、急傾斜地の保護などを行い、地域住民の安全や生活環境の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

河川防護柵設置事業費 100 万円

伏古別川に防護柵を設置します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

河川維持補修経費 335 万円

河川の機能や景観を保全するため、河川維持工事や築堤草刈り業務などを行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

目標 2 消防・救急救助体制の充実

消防庁舎・車両や人員の適正配置を図るほか、火災を未然に防ぐための予防活動の強化や消防団の活性化など、総合的な消防力の強化を図ります。

消防施設等維持補修経費 91万4千円

老朽化の著しい消防施設の補修を行い、職場環境の改善と施設の延命を図ります。

▶ 問い合わせ 消防本部

消火栓整備事業費 570万円（うち市債510万円）

火災発生時に消防水利を確保するため、消火栓の整備や更新を行います。

▶ 問い合わせ 消防本部

目標3 交通安全の推進

交通安全教育や全市的な交通安全運動の推進に努めるほか、歩行者が安全で安心して通行のできる歩道の整備と交通安全施設の整備を進めます。

交通安全推進経費 186万円

幼稚園や学校、老人クラブなどで交通安全教室を行うとともに、交通安全運動を通じて市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努めます。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

交通傷害保険料 240万円

少額な保険料で、市民を交通事故によるけがなどから保障します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

交通安全協会交付金 430万円

交通安全思想の普及や高揚を図るため、指導教育活動や広報活動などの活動を行う交通安全協会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

照明灯設置事業費 100万円

幹線道路や通学路の交差点などの交通安全対策のため照明灯を設置します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

カーブミラー設置費 80万円

見通しの悪い交差点などにカーブミラーを設置し、交通事故の防止を図ります。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

美園57号線歩道新設事業費 2千500万円（うち市債2千250万円）

平成7年度から行っているJR室蘭本線沿いの美園57号線（若草町）の歩道新設工事を、平成20年度完成を目指して平成19年度も引き続き行います（延長124^{メートル}）。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

ロードマーク設置費 200万円

車両の通行の安全を確保するため、市道の路面上にセンターラインなどの表示を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

目標4 安全な消費生活の確保

消費者協会と連携し、消費生活モニターによる価格動向調査や商品試買量目調査などを実施するほか、『オレオレ詐欺』や『振り込め詐欺』などの多様化する消費生活相談の充実に努め、市民の消費生活の安全と安定の確保に努めます。

消費者行政推進経費 28万9千円

消費生活に関する相談や物価調査結果の集計、量目の調査を行い、市民の消費生活の安定と向上を図ります。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

消費生活モニター関係経費 26万円

市が委嘱する消費生活モニター（10名以内）が、生鮮食料品や日用雑貨などの35品目について、月1回、価格変動や商品陳列の状況（商品供給状況）、産地表示の状況などを調査します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別消費者協会運営助成金 18万5千円

物価の調査や監視、消費生活相談など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

消費生活展開催補助金 30万円

登別消費者協会が、商品の正しい知識の普及や啓発を目的に、商品の安全性やリサイクルなどを実演や展示で紹介する消費生活展を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

目標5 犯罪のない安全なまちづくり

関係機関・団体と連携を図り、『社会を明るくする運動』や暴力追放運動、防犯灯の設置、空き家などの適正管理による犯罪誘発防止に努めるほか、外国からの武力攻撃やテロなどの発生による市民の生命や身体、財産を保護するための危機管理など、必要な措置（訓練、警報、避難など）に努めます。

社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担金 18万円

青少年の非行防止と更生保護の啓蒙を目的に、街頭啓発や公開ケース研究会などの犯罪防止啓発事業を行う社会を明るくする運動登別地区実施委員会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

防犯灯設置事業補助金 540万円

町内会などが地域の安全を確保するために整備する防犯灯の設置費や改修費を補助します。（補助率 3分の2以内）

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

室蘭登別防犯協会連合会助成金 65万円

犯罪の未然防止と暴力を追放し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて活動する室蘭登別防犯協会連合会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金 50万円

市内から暴力団を追放・排除し、安全で安心して暮らせる明るいまちづくりの実現に向けて活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別地区保護司会補助金 25万円

過去に罪を犯した方の更生を助けるとともに、犯罪予防の啓発に努め、個人や公共の福祉に寄与し、明るい社会を実現するため活動する登別地区保護司会を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

目標6 心配ごと・困りごとの解消

生活上の心配ごとや困りごと、苦情など多種多様な相談を必要に応じて各種の専門家から受けることができる無料法律相談などの相談体制の充実を図り、市民の心配ごと困りごとの解消に努めます。

無料法律相談業務委託料 37万8千円

交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、鉄南ふれあいセンターと弁護士事務所で弁護士による相談を行います。

- ・鉄南ふれあいセンターでの相談…月1回、定員6人
- ・弁護士事務所での相談…月6人

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

第1節 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる

目標1 魅力ある観光地づくり

団体から小グループへと変化する旅行形態や、アウトドアスポーツ、観光農業などの体験型が増えている観光行動など、観光客のニーズを的確に把握するほか、ほかの観光地との差別化を意識しながら、豊かな温泉に加え、自然、農業、漁業など地域の潜在資源を活用した観光地づくりを進めていきます。

登別市・白老町観光連絡協議会負担金 150万円

観光産業の育成と強化を図るため、広域で誘客事業に取り組む同協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光客誘致促進事業費 443万5千円

観光客誘致のため、パンフレットやポスターの作成や配布、各種イベントの参加で、登別の観光を広く周知し観光客の増加を図ります。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

登別観光協会助成金 1千60万円

多様なニーズに対応できる観光地づくりを推進するため、その重要な役割を担う観光協会を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光ホスピタリティ推進事業補助金 90万円

観光ボランティアガイドの養成や活動の支援のほか、受け入れ環境の整備などと併せ、観光ホスピタリティの啓発活動を行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光振興特別対策事業補助金 4千190万円

登別観光協会が行う修学旅行や国内外の誘客宣伝のほか、登別地獄まつりなどのイベントを実施する事業を支援します。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

観光施設維持管理事業 425万6千円

各種観光施設を安全で快適に利用していただくための清掃や維持管理を行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

温泉供給施設維持管理経費 1千626万円

上登別地区に安定した温泉を供給するために、施設の維持や補修などの管理を行います。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

カルルス温泉スキー場事業

観光やウインタースポーツの振興、カルルス地区の活性化を図るため、カルルス温泉スキー場を委託して運営します。

・基本業務委託料 1千200万円

・運営管理負担金 7千951万円

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

目標2 域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成

民間企業主体の『登別市産業クラスター形成協議会』を核として、地域の潜在資源を活用した新たなビジネスモデルの事業化に向けた取り組みを進めるほか、観光産業を軸に、産学官の連携や環境・文化・教育・福祉・医療分野などとの異業種交流・連携を深めるなど、複合的産業基盤の形成を図ります。

起業化支援事業補助金 600万円

市内において、地域の資源や技術を活用した地場製品の創出や新たな技術の事業化、新たなサービスの提供を行う起業家の事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

ものづくり創出支援事業負担金 260万円

(財)室蘭テクノセンターが行う『ものづくり創出支援事業』に対し、市内中小企業などが活用した経費を負担します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

産業クラスター形成計画推進経費 227万5千円

地域再生計画『産業クラスター形成計画』の推進と『登別市産業クラスター形成協議会』の活動を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

企業立地振興補助金 155万3千円

企業の立地や振興を促進するため、市内に事業所を設置、または増設する事業者を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

目標3 活力ある地場企業の育成

地域の資源や技術を活用した新たな地場製品の創出や新技術の事業化、新サービスの提供などを促し、起業化への意欲の向上などを図ります。

札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費 7万6千円

札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を図ります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

商工会議所事業推進職員設置補助金 152万5千円

登別商工会議所が行う各種事業の推進と関係機関との連携強化のため、商工会議所に派遣する市職員に係る経費の一部を補助します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業相談事業補助金 800万円

商工業者の経営の安定化や健全化を目的に登別商工会議所中小企業相談所が行う金融や経営などの相談事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業特別融資利子補給金 39万5千円

中小企業の事業活動を支援するため、中小企業特別融資制度の小口事業や団体事業、新分野進出支援の資金を利用した方の借入金の利子の一部を補給します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

商業活性化イベント事業補助金 27万8千円

商店会または商店会が中心となって組織された団体が、商業の振興や地域経済の活性化のため、地域住民と共同で行うイベントに対し補助金を交付します。

鷺別地区	鷺別手づくり夏祭り
若草・新生地区	グリーンピア・サマーフェスティバル
登別地区	わくわく広場のぼりべつ

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

物産展参加補助金 20万円

地場製品の紹介や宣伝、販路拡大のため、姉妹都市白石市の農業祭や各都市で開催されるイベントなどへ出展するのぼりべつ物産会の事業を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

中小企業特別融資積立金 8千900万円

中小企業者の資金調達の円滑化や資金確保の環境づくりを進めるため、低利の融資を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

住宅改良促進特別融資積立金 3千700万円

市民の住環境の向上と地場における住宅関連産業の振興育成を図るため、住宅の改良を行う方に、低利の融資を行います。

貸付限度額	300万円（10年償還）
利率	住宅改良 1.95%、バリアフリー改良 1.75%
	新エネルギー関連改良 1.75%

※利率は平成19年4月1日現在です。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

新産業創造活動事業補助金 90万円

地域の特性や技術などを活用した新技術、新製品、新サービスなどの研究・開発事業を行う団体などを支援し、複合産業の基盤をつくります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

目標4 雇用と就業環境づくりの推進

ハローワークと連携するなど、きめ細かな雇用情報の提供を行うほか、若年者や女性、高齢者、障がい者の就業を支援し、誰もが生涯を通して働ける環境づくりを進めます。

雇用対策救援事業費 2千554万4千円

公共施設の清掃や通学路などの除雪作業を通して雇用の場を確保し、季節労働者の就労と生活の安定を図ります。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

労働振興事業助成金 100万円

市内労働者の雇用環境改善などを目的に労働相談事業を行う労働組合連合会を支援します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

勤労者特別融資積立金 4千100万円

市内に居住する勤労者の生活安定を目的に、生活資金などの融資を行います。

生活（一般）資金	貸付限度額	100万円（10年償還）
	利率	2.28%
生活（特別）資金	貸付限度額	30万円（3年償還）
	利率	1.00%
教育資金	貸付限度額	150万円（10年以内）
	利率	1.94%

※利率は平成19年4月1日現在です。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

高校生のための企業見学会経費 19万9千円

高校生の就職活動を支援するため、登別・室蘭・伊達の3市が合同で管内の企業見学会を行います。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

事業所内職業訓練助成金 210 万円

登別地方高等職業訓練校で行う木造建築科やOAシステム科など6科目の訓練事業に助成します。

▶ 問い合わせ 商工労政グループ

第2節 自然を活かした産業の育成

目標1 特色ある農業・漁業の推進

農水産物の地産地消に取り組むほか、観光と連携したグリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）、マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）を推進し、農水産業の振興などを図ります。

担い手育成総合支援協議会負担金 3万円

農業従事者の担い手の確保と育成を図り、国際競争力のある農業を確立し、豊かな農村生活の実践と活力ある地域社会の形成を図るための活動を行う登別市担い手育成総合支援協議会を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

有害鳥獣駆除経費 56万2千円

キツネ・鹿・カラスによる農業被害などを最小限に食い止めるため駆除を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

農業振興特別補助金 1千65万円

土地改良事業の実施に伴う農業者の負担軽減を図るため、補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

胆振西部乳牛検定組合補助金 45万円

胆振西部乳牛検定組合に補助金を交付し活動を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

畜産環境施設等整備事業費

家畜排泄物を適正に管理するため、家畜排泄物処理施設の整備が必要な農業者に対し、次の2事業により整備を支援します。

・資源リサイクル畜産環境整備事業負担金 771万1千円

処理施設や堆肥還元用草地などを整備し、家畜排泄物の有機質資源としての有効活用を進めます。

・畜産環境整備事業指導連絡調整事務費 7万4千円

資源リサイクル畜産環境整備事業の円滑な推進を図るため、農業開発公社から指導連絡調整業務を受託し、事業参加者の調整を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

市牧場管理経費 114万5千円

草地不足の酪農家の育成牛などを市牧場（鉦山町）で預託することにより、飼養管理、労働の省力化を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

受精卵移植推進協議会補助金 45万円

乳牛や肉牛への受精卵移植の研究や受精卵移植技術者の養成などの支援を行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

酪農ヘルパー事業運営補助金 72万円

酪農ヘルパーの導入により酪農家の休暇取得が可能となり、ゆとりある酪農経営の確立と傷病などによる負担を軽減して、経営の安定を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

農業用施設等管理経費 61万3千円（うち道4万5千円）

農業用排水路などの施設の補修などを行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

中山間地域等直接支払推進事務費 177万円

（うち国88万4千円、道44万2千円）

鉦山町の急傾斜地など地理的条件の不利な農地の保全や急傾斜地を起因とした雨水による土砂の河川への流出を防ぎます。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

特定農山村地域活動支援事業費

高収益・高付加価値型農業の展開や多様な担い手育成、地域間交流促進のための事業を計画的に取り組むために、特定農山村総合支援事業実施市町村の指定を受けたことから、地域の実情に応じた次の事業を計画的に行います。

・シカの農作物等食害対策事業費 10万円

シカによる農作物などの食害を防止するために、受益者の負担が少なく実効性のある食害防止策の先進的事例調査と、地域に存在する資源をシカの忌避剤（きひざい）としての利用の可能性について試験研究を実施します。

・乳質改善事業費 44万2千円

消費者の酪農に対する信頼性を確保するために、生産者と農業協同組合、共済組合など関係機関との連携により乳質改善向上対策を行います。

・担い手農業者等支援事業費 10万円

次代を担う農業者を、各種研修会や講習会へ派遣して農業経営に希望と意欲を持って取り組むことが出来るよう支援します。

・都市農村交流促進事業費 180万円

農業体験サービスの拡充と地場畜産物の直売体制の整備などを盛り込んだ農村滞在型余暇活動機能整備計画を市で策定し、グリーンツーリズム的な農業展開を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

札内高原館運営管理経費 572万3千円

コミュニティの場としての活用を図るとともに、観光客や地域住民を対象としたソーセージやバターづくり、蕎麦うちなどの加工体験学習を引き続き行います。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

登別救難所運営事業補助金 27万5千円

海難事故が発生した場合の救出や救助に備えた訓練などの活動を支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁業近代化資金利子補給金 42万1千円

漁業経営の近代化を促進し、負担を軽減するため、漁業近代化資金に係る借入金利子の1%を負担します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁港まつり運営費補助金 50万円

地場水産物のPRと消費拡大、漁港愛護の啓蒙、漁港を核とした地域の振興発展を目的に開催される登別漁港まつりの運営を支援します。

開催予定日 9月8・9日(土・日)

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

漁業専門員設置補助金 120万円

地域海洋特性に適した魚介類の栽培や新しい資源づくりを推進するため、いぶり中央漁業協同組合や白老町と広域的に専門員を配置し、漁家経営の安定を図ります。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

沿岸漁業構造改善事業補助金 699万5千円

登別漁港で水揚げされた水産物の鮮度の良さや安全性、信頼性を兼ね備えた供給体制を確立するため、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理体制を構築するいぶり中央漁協が行なう高度衛生管理型、登別漁港水産物荷捌所(製氷・冷蔵施設併設)建設及び水道管敷設工事を支援します。(10年計画)

なお、登別漁港水産物荷捌所建設は、北海道と登別市、白老町との連携により支援します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

登別漁港維持管理事業補助金 35万7千円(うち道35万7千円)

登別漁港の軽易な維持管理と港内照明灯電気料金を補助します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

鷺別漁港維持管理事業補助金 10万4千円(うち道10万4千円)

鷺別漁港内の照明灯電気料金を補助します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

水産業振興対策事業補助金 5千円

漁業雑肥(ぞうひ)や加工残渣(ざんさ)を魚油(ぎょゆ)や魚粕(さかなかす)に加工して資源の有効活用を図り、漁業者や水産加工業者の処理費の軽減を行い経営の安定を図るため、ミールプラントの整備に係る借入金の利子を負担します。

▶ 問い合わせ 農林水産グループ

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 暮らしやすい快適なまちをつくる

目標1 計画的な都市空間づくり

地域・地区、区域・区分の見直しを行い、時代に即した適正な土地利用の誘導や都市施設の適正配置を図ります。

目標2 地域景観の形成

市民の皆さんとともに景観条例や各種指針、基準、マニュアルなどの整備を進めます。

第2節 良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる

目標1 快適な住環境づくり

テレビの難視聴地域の解消や質の高い画質、情報の収集ができるデジタル化に向けた中継局の整備をするほか、良質な水の安定供給の確保や、身近な公園の再整備を行います。

公園維持管理経費 9千387万5千円

市内117カ所の公園や広場の遊具、照明灯、樹木などを適正に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

街区公園等清掃交付金 65万5千円

公園や広場の清掃や草刈りなど維持管理業務の一部を協力していただいた町内会などに交付金を交付します。

実施予定町内会 41町内会

実施予定公園数 55カ所

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

水道事業

水道水の安定供給を図るため、水道施設の維持管理や配水管の新設、道路改良に併せた移設工事などを行います。

また、事業運営は水道料金で賄っていますが、近年、水の使用量の減少に伴う収入の減少や今後予想される老朽施設の更新にかかる必要経費の増加に対応するため、水道料金は7月から平均10%の値上げを行います。

給水戸数 2万1千561戸、年間給水量 433万6千立方メートル

・送配水施設整備事業 2億4千200万3千円

・設備事業費 1億4千584万1千円

▶ 問い合わせ 水道グループ

簡易水道事業

簡易水道により札内・来馬地区などに安全な水道水を供給します。

給水戸数 90戸、給水量 8万9千500立方メートル

・簡易水道施設管理経費 2千291万6千円

▶ 問い合わせ 水道グループ

目標2 良好な居住空間づくり

民間と公共の情報を共有し、役割分担を明確に、優良な宅地の供給や良好な住宅建設の適正な誘導に努めます。

市営住宅改善経費（高齢者・身体障がい者施策） 225万円

市営住宅に居住している高齢者や身体に障がいのある方が、日常生活を過ごしやすいよう住宅内の段差解消や玄関・トイレ・浴室への手すり取り付けなどの改善を行います。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

市営住宅（幌別東団地）建替事業費 3億2千106万3千円

（うち国1億3千859万9千円、市債1億7千780万円）

市営住宅ストック総合活用計画に基づいて、平成16・17年度で建て替えた幌別東団地1棟20戸（4階建てエレベーター付き）に接続して、平成18・19年度で24戸4階建て住宅を建設します。

▶ 問い合わせ 建築住宅グループ

第3節 道路交通網の整ったまちをつくる

目標1 総合的な交通網の整備

既設道路が十分に機能しているかを調べ、道路網の見直しを行い、障がい者や高齢社会にも配慮し、安全で利便性の高い整備を進めます。

鉱山地域住民タクシー経費 13万円

鉱山地域住民の交通の便を確保するため、タクシー料金の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

生活交通路線維持対策事業費補助金 558万1千円

市民生活に必要なバス路線の維持が、自家用車の普及により困難になっていることから、国や北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に補助金を交付し、バス路線を維持します。

準生活交通路線 1路線（負担割合 道3分の1、市3分の2）

市生活交通路線 9路線（市単独補助）

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

道路台帳図作成委託料 600万円

市道を適切に管理するため、新設や変更などを行った市道の現況測量を行い、道路台帳図を作成します。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地確定測量委託料 405万円

市道を適切に管理するため、道路整備を完了している市道で未処理用地となっている用地の現況測量や用地確定測量を年次的に行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市道用地買収費 532万9千円

市道用地確定測量により確定した未処理用地や事業に伴う用地の買収を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

広域幹線、市内幹線道路網の整備

・カルルス路線改良事業費 8千330万円

(うち国4千980万円、市債3千150万円)

幌別市街地とカルルス温泉を結ぶ幹線道路の一部(延長858㍎、幅員7.5㍎)の改良工事などを行います。

・富岸西路線改良事業費 6千930万円

(うち国4千140万円、市債2千620万円)

亀田記念公園入口付近から道道上登別室蘭線までの道路の一部(延長148㍎、幅員16㍎)の改良舗装工事や用地買収などを行います。

・中央通り改良事業費 3千430万円(うち国2千40万円、市債1千290万円)

岡志別の森運動公園入口付近から道道上登別室蘭線までの道路の一部(延長123㍎、幅員16㍎)の改良舗装工事などを行います。

・市道舗装排水整備事業費 4千600万円(うち市債1千600万円)

市道の改良工事や舗装工事などを行います。

・カルルス路線外1改良事業費 1千万円(うち市債900万円)

ホテル岩井からカルルス温泉市街地の道路の一部(延長20㍎、幅員7.5㍎)の改良舗装工事を行います。

・登別温泉中央通り外1改良事業費 1千800万円(うち市債1千620万円)

登別温泉中央通り道路災害防除事業に関連する市道の路肩拡幅工事(延長100㍎)などを行います。

・東町34号線改良事業費 2千万円(うち市債1千800万円)

登別消防支署前の市道の両歩道拡幅整備(延長260㍎、歩道幅員3.5㍎)などを行います。

・蘭法華通り改良事業費 1千700万円(うち市債1千530万円)

蘭法華トンネルから新蘭法華跨線橋の区間の市道の一部を改良するため、実施設計などを行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

市道常時補修費 6千670万円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道を適切に維持管理します。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

除雪委託料 5千万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、市道の除雪や融雪剤の散布を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

冬道対策経費 550 万円

冬期間における歩行者や通行車両の安全を確保するため、融雪剤購入、ロードヒーティング設備や砂箱の修繕を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

橋梁維持補修経費 325 万 6 千円

歩行者や通行車両の安全を確保するため、橋梁の維持管理や補修を行います。

▶ 問い合わせ 土木公園グループ

地籍調査管理経費 86 万円

地籍調査事業の成果の閲覧や調査を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1節 生涯にわたって学び続ける社会をつくる

目標1 市民の主体的な学習の推進

家庭や学校、地域社会、行政機関、民間団体などの連携・融合を図るほか、市民の自主的・主体的な生涯学習活動を促進します。

生涯学習推進経費 85万4千円

市民が、生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指します。

- ・ **生涯学習情報の提供**…市内で取り組まれている生涯学習の情報などを掲載した生涯学習ニュース『明日をひらく窓』の家庭版を年3回発行し、幼稚園児や小・中学生のいる家庭へ配布します。また、市などが行う生涯学習活動の予定を掲載した『生涯学習ガイド』を年6回発行します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民生涯学習推進講座経費 289万円

- ・ **ときめき大学**…60歳以上の市民を対象に、親ぼくを図り、生きがいのある人生観を持つことを目的にさまざまな知識や教養を身に付け、地域社会に役立てていただくため『ときめき大学』を開設しています。

平成19年度の学生数は356人です。

- ・ **婦人短期大学**…女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を社会に役立ててもらうため『婦人短期大学』を開設しています。

平成19年度の学生数は154人です。

- ・ **家庭教育学級**…家庭での教育力の向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画しながら子育てに関する学習会などを行う『家庭教育学級』を開設しています。

平成19年4月現在、12学級です（私立幼稚園4学級、小学校8学級）。

- ・ **市民マイプラン講座**…団体やサークルなどが自主的に行う学習会を、1団体につき1回を限度に支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

婦人研修の家維持管理経費 471万6千円

市内8カ所の婦人研修の家の整備や管理を行います。

婦人研修の家名	住 所	電話番号
カルルス婦人研修の家	カルルス町27-1	84-2172
常盤婦人研修の家	常盤町2丁目34-1	85-8039
柏木婦人研修の家	柏木町4丁目24-8	85-1079
桜木婦人研修の家	桜木町2丁目15-17	
新川婦人研修の家	新川町4丁目15-11	
栄婦人研修の家	栄町2丁目7-5	86-9918
美園婦人研修の家	美園町4丁目8-9	86-6975
若草婦人研修の家	若草町2丁目2-7	86-9919

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

公民館運営管理経費 217万5千円

市内3カ所の公民館の運営管理を行います。

平成19年度は、鷺別公民館の放送機器の更新と駐車場の整備を行います。

公民館名	住 所	電話番号
登別温泉公民館	登別温泉町17	84-3365
登別公民館	登別東町2丁目21-1	83-3265
鷺別公民館	鷺別町3丁目3-4	86-8823

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

図書館運営管理経費 2千39万5千円

図書資料の整備や図書の購入をはじめ、『文化講演会』『読書感想文・読書感想画コンクール』『年長児の読書感想画募集』などを行います。

▶ 問い合わせ 市立図書館

移動図書館車運行業務委託料 296万6千円

本の貸し出し、読書活動の推進を図るため、移動図書館車を民間委託し、サービス等の向上を図ります。

▶ 問い合わせ 市立図書館

図書館システム更新経費 34万6千円

図書館システムの機器などの更新を行います。

▶ 問い合わせ 市立図書館

第2節 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む

目標1 子どもたちの生きる力を育む

自ら学び、自ら考えるなど『生きる力』の育成を図るため、基礎・基本の確実な定着を図り、豊かな人間性の育成、健康や体力づくりなど『知・徳・体』の調和のとれた教育を推進します。

スクールカウンセラー活動経費 16万2千円

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動について、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図ります。

配置校 西陵中学校、緑陽中学校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

心の教室相談員活動経費 149万9千円

生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路、親子関係、登校拒否などについての相談を相談員が受けます。

配置校 幌別中学校、鷺別中学校、登別中学校、緑陽中学校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

子どもと親の相談員活用経費 35万円（うち国35万円）

小学校に『子どもと親の相談員』を配置し、不登校などの早期発見・早期対応や未然防止に関する調査研究を行います。

配置校 幌別西小学校

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

不登校・いじめ等対策経費 14万円

- ・教育相談・いじめ相談…専門相談員を2人配置し、電話や来室による相談を受けます（月～金曜日の9時～17時）。
- ・不登校・いじめ等対策会議…校長会や教頭会の代表、小・中学校教諭、教育委員会（補導センターを含む）など30人で構成される同会議を年2回開催します。

【学校訪問や実態調査の実施】

- ・『いじめ学習資料』の配布…小学5年生、中学1年生。

- ・保護者向け広報誌『手をつなぐ親と子』の発行…幼稚園や小・中学校の家庭を対象に発行。
 - ・教職員（幼稚園、小・中学校）を対象とした研修会…年2回開催。
 - ・不登校児童生徒をかかえる保護者懇談会…毎月第2火曜日
 - ・ふれあいサポート懇談会…指導體制・実態についての情報交換や、自然体験学習・宿泊交流学习などの実施、スクールカウンセラーの活用についての協議を行う同懇談会を年3回程度開催。また、各中学校区の地区別交流会を年2回開催。
 - ・登別市小・中・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年2回開催。
 - ・登別市小学校及び中学校生徒指導担当者（部長）連絡会議…小・中学校それぞれ年3回開催。
 - ・登別市中学校・高等学校合同生徒指導担当者（部長）連絡会議…年3回開催。
- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒健康診断等経費 2千16万3千円

市内の小中学校の児童・生徒の健康管理のため健康診断を行います。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

学校医等表彰経費 4万3千円

市内の小中学校の児童・生徒等の健康増進と保健教育の振興に貢献した学校医、歯科医、薬剤師を表彰します。

10年以上・20年以上・30年以上の表彰

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

中学校体育連盟助成金 146万円

中学校の体育を振興し、健康なスポーツを通して、生徒の健康増進や生徒間交流を図るため、各種大会を主催する中学校体育連盟に助成金を交付します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

学習状況調査研究経費 9万8千円（うち国9万8千円）

学力向上のための実践的な調査を地域で生活する教員経験者などを活用して行い、その成果の普及を図ります。

実践校 鷺別中学校

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

目標 2 地域に根ざした魅力ある学校づくり

各学校において創意あふれる教育活動が展開できるよう、地域に根ざした特色ある教育活動を進め、開かれた学校づくりを推進するほか、教育環境の充実に努めます。

教育実践研究奨励等経費 67万2千円

市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、定期的に報告書を作成します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

言語障がい通級指導教室運営経費 22万3千円

言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、ことばの教室を開設し、言語障がい児教育の充実・伸展を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

教育研究会運営事業補助金 80万円

職務遂行上、必要な専門知識の向上を図るため、教職員自ら教育のあり方を研究している登別市教育研究会の運営を支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特殊教育振興費 35万3千円

心身に障害のある児童・生徒の能力と個性を最大限に伸ばし、将来社会人として自立と社会参加を目指すため、特殊教育指導内容の研究と実践を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

小中学校情報教育推進事業費 5千872万1千円

高度情報通信ネットワーク社会の進展に対応し、児童・生徒がパソコンなどの情報通信機器を使い、さまざまな情報を主体的に選択・活用することができる能力の育成を図ります。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

自然体験学習推進経費 98万3千円

ネイチャーセンター『ふおれすと鉦山』を利活用し、児童・生徒が動植物の観察などの自然体験を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特色ある学校づくり推進経費 541万7千円

- ・ **登別温泉入浴体験**…市内の小学3年生を対象に、登別温泉入浴体験を行います。
 - ・ **総合的な学習活動の研究推進**…自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図ります。
 - ・ **生活科の実施**…児童の健やかな成長をはぐくむため、小動物の飼育や学校菜園を通して、命の尊さや自然に親しむ心を育てます。
- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

外国青年招致経費 577万5千円

生きた英語を指導する外国人英語指導助手（AET）を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図ります。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

私立高等学校教育振興補助金 684万円

入学金の一部を助成し、私学教育の振興を図ります。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

スクールバス運行経費 1千314万5千円

児童生徒の通学の安全を確保するため、札内・来馬方面から幌別小学校と幌別中学校へ、登別温泉・中登別方面から登別小学校へスクールバスを運行します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

児童生徒遠距離通学費補助金 359万円

バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別活動推進経費 289万円

児童会やクラブ活動、部活動などを通して、児童・生徒による自主的・実践的な活動を助長します。

- ▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特別支援教育推進経費 230 万円

心身に障がいのある児童・生徒の障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

P T A 連合会助成金 30 万円

小・中学校と高等学校の P T A の緊密な連絡調整や教育の充実発展を図るため、登別市 P T A 連合会が行う研究大会や母親研修会、広報誌の発行などの活動を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

要保護・準要保護児童就学奨励費 6 千 483 万円（うち国 46 万 9 千円）

経済的な理由により就学が困難と認められる児童や生徒の保護者に必要な援助を行います。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

特殊教育就学奨励費 150 万 2 千円（うち国 74 万 9 千円）

特殊学級に就学している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

教育施設水洗化事業費 2 千 200 万円（うち市債 1 千 650 万円）

公共下水道供用開始区域内の公共施設を、年次的に水洗化しています。

実施カ所 登別小学校

▶ 問い合わせ （教育）総務グループ

登別中学校暖房設備整備事業費 1 千 350 万円（うち市債 880 万円）

老朽化の著しい暖房設備を改修し、教育環境の改善を図ります。

▶ 問い合わせ （教育）総務グループ

学校給食事業

栄養バランスのとれた給食を小・中学校や保育所に調理・配送します。

小学校 8校 2,651人

中学校 5校 1,458人

明日中等教育学校 1年生 80人

保育所 4所 318人

・給食事業費 3億2千837万9千円

▶ 問い合わせ 学校給食センター

目標 3 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり

家庭や学校、地域社会、関係機関、民間団体などと連携し、青少年の非行の未然防止に努めます。

子ども地域交流プラザ事業補助金 100万円

『ふれあい農園』や『巡視船体験乗船』『自然体験学習』などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年育成指導経費 102万5千円

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

成人祭経費 52万3千円

登別市成人祭実行委員会主催による成人祭を開催します。

平成19年度は、平成20年1月13日（日）に開催する予定です。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

少年の主張大会経費 4万7千円

中学生が、日常生活の体験や日ごろ考えていることを広く訴えます。

平成19年度は、6月に鷺別中学校を会場に開催します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

子ども会活動振興助成金 83万円

登別市子ども会育成連絡協議会が主催する『こいのぼりマラソン大会』や『か
るた大会』などの活動を支援します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第3節 市民の個性ある文化活動と文化を育む

目標1 市民の文化・芸術活動の育成・支援

文化情報の収集と周知に努めるほか、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供な
どに努めます。

三市合同文化事業負担金 100万円

登別市・室蘭市・伊達市合同で舞台芸術鑑賞の機会を提供します。

平成19年度は、室蘭市で開催します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

中学校音楽祭経費 29万6千円

市民会館大ホールを会場に、市内の中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部
などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露します。

実施時期 10月10日(水) 予定

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童生徒文化振興助成金 50万円

市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、全道・全国大会に出
場する際に、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化振興助成金 80万円

『市民文化祭』や『胆振芸術祭』、『文化表彰』などを行っている登別市文化
協会の活動を支援します。

加盟団体数 35団体

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

目標2 文化の保存・継承

文化財や郷土芸能などの文化遺産の積極的な保護と活用を図ります。

知里幸恵フォーラム開催事業補助金 12万円

知里幸恵の生涯と業績を後世に伝えるため、市民団体が開催するフォーラム、講演、フィールドワークなどへの支援を行います。

▶ 問い合わせ 企画グループ

アイヌ文化普及啓発事業補助金 20万円

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道ウタリ協会登別支部が行っている事業を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

アイヌ文化講座経費 29万6千円

ウタリ住民の生活の安定と社会的地位や経済的向上を図るとともに、地域の方々にアイヌ伝承文化を理解していただくために講座を開催します

事業内容 アイヌ刺しゅう、トマ織り教室の開催、
アイヌ民族衣装展『ピリカノカ』の開催

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

第20回アイヌ民族文化祭補助金 3万円

アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道ウタリ協会が行っている事業を支援します。

▶ 問い合わせ 社会福祉グループ

郷土資料館運営管理経費 245万7千円

郷土の歴史や民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化財保護経費 17万3千円

登別市文化財審議会を開催と文化財保護に関する調査研究などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

文化伝承館運営管理経費 22万6千円

郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習などを行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

のぼりべつ文化交流館運営管理経費 583万5千円

埋蔵文化財の展示や体験学習、サークル活動などの複合的な機能をもった施設として活用します。

開館予定日 6月1日

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第4節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

目標1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

すべてのスポーツ愛好者が生涯を通じて、いつでもどこでも気軽にスポーツに親しみながら、体力づくりを推進し、健康で活力ある生活を目指します。

体育指導委員会経費 88万2千円

体育指導委員会は、スポーツ振興の進行役やコーディネーターとしての役割など、生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的として設置されています（スポーツ振興法）。

委員数は15人で、各種講習会での指導や市民ラジオ体操会、市民体力テスト会などへの協力を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

学校開放事業費 447万円

市内に居住または通勤している方を含む10人以上のグループに、学校の体育施設を、スポーツ活動の場として開放します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費 42万7千円

市民のラジオ体操会や体力テスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

三市スポーツ大会事業費 27万4千円

登別市・室蘭市・伊達市の子どもたちがスポーツを通し、交流を深めます。

陸上競技（室蘭市入江陸上競技場）を行います。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

体育協会助成金 80万円

スポーツの振興を図る登別市体育協会の活動を支援します。

加盟団体数 21団体

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

スポーツ少年団育成助成金 50万円

リーダー養成事業や競技別交流会などを行う登別市スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツの振興を図るため、助成金を交付します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

児童生徒スポーツ振興助成金 300万円

市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、全国・全道大会に参加する際、参加者の負担を軽減するため、経費の一部を助成します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

青少年会館運営管理経費 1千855万2千円

市内4カ所の青少年会館を運営管理し、市民の学習活動やサークル活動などの推進を図ります。

管理業務は、社団法人登別市シルバー人材センターに委託しています。

青少年会館名	住 所	電話番号
登別市青少年会館	中央町5丁目21-12	85-3107
登別東青少年会館	登別本町1丁目18-4	83-3399
富岸青少年会館	富岸町2丁目23-15	86-2449
鷺別青少年会館	鷺別町4丁目36-38	86-6515

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プール運営管理経費 5千4万2千円

市民の幅広いニーズに対応し、公認競技用プールの機能やアクアスポーツ普及のための機能、水の効能を生かした健康増進機能を確保することにより、市民の健康増進と余暇の健全な活用を図ります。

平成18年度から指定管理者の（財）登別市文化・スポーツ振興財団に管理委託しています。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

市民プールバスパック業務委託料 7万9千円

市民プールの利用者増を図るため、路線バス運賃とプール入館料をセットにした『バスパック』を行っています。

業務は、財団法人登別市文化・スポーツ振興財団に委託します。

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

第6章 担いあうまちづくり

第1節 協働のまちづくりの推進

目標1 協働の仕組みの構築

市は、市民による新たなまちづくりを進めるため、市民・行政・議会のそれぞれの役割や自治の基本原則を規定したまちづくり基本条例を制定し、これからのまちづくりを協議していく市民自治推進委員会を設置することとしました。これからは、市民が主体となったまちづくりを進めるため、この市民自治推進委員会において、市民自治のあり方やパブリックコメント（※）の方法などについて協議し、協働のまちづくりの仕組みを検討します。

※パブリックコメント…行政機関が政策の立案など行おうとする際、その案を公表し、市民や事業者などから意見や情報を提出していただく機会を設け、行政機関は提出された意見などを考慮して最終的な意思決定を行うというもの。

目標2 まちづくり活動の推進

各分野において多くの団体がさまざまな形でまちづくりに参画していますが、活動の拠点となる場を提供し、各団体のネットワーク化を図ります。

町内会と市との連携を強化し、今後さらに円滑に活動できるよう、市職員の地区別担当を定めて、町内会活動を支援します。

市民憲章推進協議会助成金 15万円

市民憲章の周知を図るとともに、より豊かな郷土づくりを目指し、『花いっぱい運動』の実施や『市民憲章だより』を発行している登別市民憲章推進協議会の活動を支援します。

▶ 問い合わせ 企画グループ

コミュニティ助成事業補助金 130万円

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織への支援を行います。

団体数…1団体（登別子ども熊舞保存会）

▶ 問い合わせ 企画グループ

連合町内会助成金 240 万円

登別市連合町内会の活動を支援します。

登別市連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷺別地区、美園・若草地区の11地区の連合町内会で構成されています。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

町内会運営助成金 2千680万円

地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援します。

助成金は、団体割や世帯割、会館割、防犯灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、防犯灯・会館の維持管理などに利用されています。

・町内会等…95

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

登別温泉ふれあいセンター運営管理経費 1千434万5千円

地域社会活動を推進するため、施設の運営管理を行います。

図書コーナー、パソコンコーナー、展示コーナー、多目的ホールなどを設置しています。

▶ 問い合わせ 登別温泉ふれあいセンター

のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費 36万3千円

個人のグループや企業・各種団体が、道路や公園・広場、河川の里親になり、ボランティアで清掃美化活動を行うアダプトプログラム『のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業』を行います。

▶ 問い合わせ 管理グループ

市バス運行業務委託料 730万2千円

行政運営の効率化を図るため、市バスの運行業務を委託します。

▶ 問い合わせ 総務グループ

道南ブロック町内会活動研究大会助成金 25万円

登別市を会場に開催される平成19年度道南ブロック町内会活動研究大会を支援します。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

目標 3 協働のまちづくりを支える情報の公開と共有

情報の提供と市民意見の反映を的確に行うほか、地区懇談会やふれあい懇談会、市長室フリータイムなどを継続するとともに、パブリックコメント制度を確立します。

広報広聴経費 1千175万4千円

- ・ **広報のぼりべつの発行**…市の財政状況や事業・プロジェクトの紹介、直面している課題などについて、写真やグラフなどを用いて分かりやすく紹介する特集を組むほか、活躍している市民や催し、お知らせ、募集などを掲載した広報紙を毎月1日に発行します。
 - ・ **各種懇談会の開催**…市が直面している問題や地域の問題などについて、連合町内会を単位に、市長をはじめとする市の幹部と話し合う『地区懇談会』を開催するほか、まちづくりなどについて市長とひざを交えて話し合う『市長室フリータイム』、市職員が地域の抱える問題を町内会等単位できめ細かくお聞きする『地区課題（要望）』、市職員が市の事業や制度について分かりやすく紹介する『市職員出前フリートーク』などを開催し、情報の共有化と意見・提案の集約を図ります。
 - ・ **見学会の開催**…市民や市内の団体を対象に、公共施設やまちの産業などを見学する『市民見学会』を春と秋の年2回開催するほか、室蘭市・伊達市と共同でそれぞれの市の公共施設や産業などを見学する『三市合同施設見学会』を年1回開催します。
- ▶ 問い合わせ 情報推進グループ（広報広聴担当）

地域情報化推進経費

・ O A 化推進経費 2千548万3千円

従来からの事務処理の効率化を目標とした『O A 化』に止まることなく、住民の視点に立った行政サービスの質的向上と情報ニーズへの的確な対応を図ります。

・ 地域イントラネット維持管理経費 3千24万2千円

市内小・中学校や市役所などの公共施設38カ所を結ぶ光ファイバーネットワーク機材などの保守と適切な運用を図ります。

・地域情報センター維持管理経費 913万8千円

登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置している地域情報センター（愛称『PIP（ピッピ）』）は、インターネット接続や各種アプリケーションソフト、映像装置を設置するなど市民が情報通信技術に親しめる拠点施設です。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

電子計算機運用処理委託料 1千512万円

ホストコンピュータ（汎用機、周辺装置、端末機器等）を利用した住民記録や税等の業務システムを安定的に運用するため民間に委託します。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

北海道電子自治体共同システム運用経費 354万4千円

電子自治体の実現に向けて構築した各種システムの共通基盤や市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用します。

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

西いぶり広域連合共同電算事業負担金 8千137万9千円

西胆振の市町がそれぞれで構築・運用を行っている電算システムについて、情報処理経費の増大や専門職員の確保など各市町で抱える課題を、共通のシステムを構築・運用することで解決を図る西いぶり広域連合に加入しています。

加入市町 登別市、室蘭市、伊達市、壮瞥町

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

西いぶり広域連合共同電算基盤整備事業費 2千54万円

（うち市債1千840万円）

西いぶり広域連合共同電算事業の中核施設『(仮称)西いぶりデータセンター』との情報通信基盤を確保するため、登別市と室蘭市の光ケーブルを接続します。

中核施設所在地 室蘭市石川町

光ケーブル敷設区間 鷺別公民館～室蘭市中央卸売市場前

光ケーブル敷設延長 970m

▶ 問い合わせ 情報推進グループ（情報政策担当）

第2節 交流によるまちづくりの推進

目標 1 国内における交流の場と機会の拡大

単一自治体としてすべての機能や施設などを持つことは困難であり、効率的な行政運営を図るため、広域行政などを推進します。

登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金 21 万円

姉妹都市の宮城県白石市と産業や経済、文化、スポーツ、福祉などの活動を通して友好・親善を図っている同協議会を支援します。

- 事業 小学生絵画作品交流展示会（両市で開催）
- 白石観光と物産展（刈田神社祭典時に開催）
- 白石農業祭への物産展参加（11月予定）
- 少年スポーツ交流など

▶ 問い合わせ 総務グループ

東京登別げんきかい交流経費 51 万 9 千円

首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方で構成される『東京登別げんきかい』の活動を支援します。

平成18年度末現在の会員数は個人483人です。

▶ 問い合わせ 企画グループ

ふるさと大使関係経費 6 万円

登別市にゆかりのある方を『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらうとともに、まちづくり情報などを提供してもらいます。

▶ 問い合わせ 企画グループ

姉妹都市小中学校交流事業補助金 68 万円

姉妹都市の宮城県白石市の小・中学生が、市内の小・中学生と学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び交流を深めます。

また、交流を推進する『姉妹都市小中学校交流事業実行委員会』に補助金を交付し、活動を支援します。

▶ 問い合わせ 学校教育グループ

姉妹都市スポーツ交流事業助成金 45万円

姉妹都市の宮城県白石市とスポーツを通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』に、助成金を交付し活動を支援します。

事業	8月(予定)	武道大会	登別市で開催
	9月(予定)	水泳大会	白石市で開催

▶ 問い合わせ 社会教育グループ

目標2 海外との交流の場と機会の拡大

『国際観光都市のぼりべつ』として、国際性豊かな人材育成や市民の国際理解を促進します。

自治体職員協力交流事業費 280万7千円

海外の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として受け入れ、日本の自治体のノウハウや技術を習得してもらうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図ります。平成19年度は6月下旬から11月下旬までを予定しています。

▶ 問い合わせ 企画グループ

国際交流推進事業費 31万5千円

国際交流を推進するため、講演会やデンマーク研修生と市民との交流活動の支援などを行います。

- ・ **国際交流の推進に関する事業**…市内の国際交流関係団体などと連携して『国際理解講座』を開催し、国際交流の推進を図ります。
- ・ **デンマーク研修生との交流**…9月上旬から約1カ月、登別デンマーク協会が受け入れるデンマークからの研修生と市民との交流する機会をつくり、国際交流の推進を図ります。

▶ 問い合わせ 企画グループ

中学生海外派遣事業費 275万4千円

登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学2年生5人をデンマークに派遣し（8月下旬の7日間）、ホームステイなどを体験させます。平成4年度に始まった同事業は今年度で16回目を迎え、これまでに96人の中学生を派遣しました。

▶ 問い合わせ 企画グループ

友好交流促進都市推進経費 62万2千円

中国・広州市と友好交流を促進し、地域レベルでの日中の友好親善を深めるとともに、観光振興を図ります。

▶ 問い合わせ 観光振興グループ

旅券事務費 24万1千円（うち道24万1千円）

市民の利便性を考慮し、パスポート申請の受け付けと交付の手続きを平成18年7月から市役所本庁舎で行っています。

▶ 問い合わせ 市民サービスグループ

目標3 定住の地を求める人の勧誘と定住支援

『団塊の世代』の大量退職の時期を迎え、移住ニーズに対応する受け入れ体制が求められているため、移住の情報提供や観光を基軸とした移住促進策を進め、首都圏などの大都市との交流を図り、交流人口の増大を図ります。

移住促進経費 10万円

首都圏などの団塊の世代などを対象として、当市への移住を促進するため、北海道移住促進協議会に参加し、ほかの自治体と連携・協力して北海道の魅力発信や移住体験の場の提供、移住相談窓口の設置などの活動を行っています。

▶ 問い合わせ 企画グループ

問い合わせなどの電話番号

●市の機関

登別市役所(代表)	85-2111
-----------	---------

■総務部

総務グループ	85-1130
契約グループ	85-1184
人事・行政管理グループ	85-1132
企画グループ	85-1122
情報推進グループ (情報政策担当)	85-5109
情報推進グループ (広報広聴担当)	85-6586
財政グループ	85-1331

■市民生活部

市民サービスグループ	85-1855
鷲別支所	86-6111
登別支所	83-1131
登別温泉支所	84-2068
税務グループ	85-1155
環境対策グループ	85-2958

■保健福祉部

社会福祉グループ	85-1911
恵寿園	85-5043
子育てグループ	85-5634
健康推進グループ	85-0100
高齢・介護グループ	85-5720
障害福祉グループ	85-3732
国保・年金グループ	85-1771

■観光経済部

商工労政グループ	85-2171
農林水産グループ	85-2321
観光振興グループ	84-2018

■都市整備部

管理グループ	85-3230
土木公園グループ	85-3260
(公園みどり担当)	85-4115
建築住宅グループ	85-4399
下水道グループ	85-9052
水道グループ 簡易水道グループ (業務担当)	85-5501
水道グループ 簡易水道グループ (工務担当)	85-5510

■消防

消防本部	85-9611
消防署	85-2551
鷲別支署	86-7359
登別支署	83-1115
登別温泉支署	84-2319

■教育委員会

総務グループ	88-1100
学校教育グループ	88-1162
学校給食センター	85-2723
社会教育グループ	88-1129
	88-1154
市立図書館	85-4324

■会計室

会計グループ	85-9140
--------	---------

■議会事務局

総務グループ	85-9220
--------	---------

■選挙管理委員会事務局

総務グループ	85-9143
--------	---------

■農業委員会事務局

総務グループ	85-9190
--------	---------

■監査委員事務局

総務グループ	85-9230
--------	---------

●市の施設

市民会館	88-1139
総合体育館	85-5552
市民プール(らくあ)	85-5588
岡志別の森 運動公園	88-2525
郷土資料館	88-1339
クリンクルセンター	85-2958
鉄南ふれあい センター	85-2966
登別温泉ふれあい センター	84-2068
若草つどいセンター	86-1205
総合福祉センター (しんた21)	85-0100
老人福祉センター	88-1303
のぞみ園	85-7721
中央子育て支援 センター	81-3715
登別子育て支援 センター	80-2772
婦人センター	83-3511
労働福祉センター	85-5044
地域情報センター	81-2182
葬斎場	83-1076
ネイチャーセンター	85-2569
のぼりべつ 文化交流館 (カント・レラ)	84-2069

●公的機関

土地開発公社 (財政グループ内)	85-1331
文化・スポーツ 振興財団	88-1116
社会福祉協議会	88-0860
ファミリーサポート センター	85-0033
ボランティアセンター	88-2080